

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してくらすための保健医療サービスを充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・保健福祉部	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する 主な分野別計画等	支えあうまち・京（みやこ）のほほえみプラン		

施策の評価

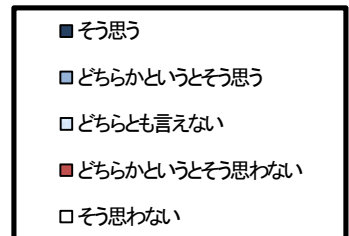
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 居宅介護等の利用時間数(時間)	-	-	91,932	101,347	98,600	102.8%	a	1.00
2 グループホーム等の利用者数(人)	-	-	527	562	527	106.6%	a	1.00
3 自立支援医療の受給者数(人)	-	-	25,155	26,565	25,155	105.6%	a	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	29	151	244	84	41	549	c
	5.3%	27.5%	44.4%	15.3%	7.5%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・障害のあるひとの地域移行が進んだことに伴い、在宅生活を支える福祉サービスの利用者数やグループホーム・ケアホームの利用者数が増加したことにより、客観評価ではa評価となった。 ・また、障害のあるひとの増加に伴い、自立支援医療の受給者数も年々増加している。 ・他方、市民の実感についてはc評価とかい離があり、障害のあるひとの地域生活に対する関心と理解を広げる必要性がうかがわれる。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	心身障害児(者)育成・訓練等事業	9,688	9,774	良い	保健福祉局
2	在宅心身障害児(者)療育キャンプ事業	1,702	1,702	普通	保健福祉局
3	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	26,128	27,901	良い	保健福祉局
4	発達障害者支援センター運営事業	69,292	72,807	普通	保健福祉局
5	心身障害児(者)訪問療育指導事業	17,989	18,710	良い	保健福祉局
6	在宅心身障害児(者)療育支援事業	15,295	25,768	かなり良い	保健福祉局
7	障害児通園(児童デイサービス等)事業運営補助	59,721	59,748	かなり良い	保健福祉局
8	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業(元気家族リフレッシュサポート)	15,652	15,783	かなり悪い	保健福祉局
9	介護従業者研修	3,915	3,865	かなり良い	保健福祉局
10	障害児者ホームヘルプサービス(家庭奉仕員)	387,684	392,784	普通	保健福祉局
11	中途失明者巡回生活指導員派遣事業	31,066	31,412	かなり良い	保健福祉局
12	盲人日常用具購入資金貸付事業	1,164	1,164	かなり悪い	保健福祉局
13	京都国際社会福祉センター運営補助	1,941	1,960	悪い	保健福祉局
14	身体障害者福祉会館運営	121,766	122,320	かなり良い	保健福祉局
15	聴覚言語障害センター管理運営	85,385	86,152	良い	保健福祉局
16	京都ライトハウス運営助成	132,572	132,572	かなり良い	保健福祉局
17	身体障害者療護施設運営補助	59,061	59,061	かなり良い	保健福祉局
18	盲人ホーム運営助成	7,974	8,028	悪い	保健福祉局
19	民間障害福祉施設運営助成	370,257	361,357	かなり良い	保健福祉局
20	児童療育支援給付費(「新京都方式」)	27,531	29,214	-	保健福祉局
21	重症心身障害児(者)通園事業	87,554	87,989	良い	保健福祉局
22	児童療育センター運営事業	48,186	48,887	かなり良い	保健福祉局
23	精神科救急医療システム	99,754	110,026	-	保健福祉局
24	地域精神保健福祉対策	400,295	402,860	普通	保健福祉局
25	精神病院実地指導・実地審査	11,069	11,392	かなり良い	保健福祉局
26	障害者地域生活支援センター運営事業	385,796	395,495	かなり良い	保健福祉局
27	在宅自立支援給付費(「新京都方式」)	201,096	223,445	-	保健福祉局
28	京都市障害児タイムケア事業	71,092	71,771	かなり良い	保健福祉局
29	知的障害者(児)福祉施設医療費負担軽減	5,281	6,669	-	保健福祉局
30	障害者自立支援医療特別対策	33,117	35,921	-	保健福祉局

31	発達障害児支援事業	24,208	24,208	かなり良い	保健福祉局
32	身体障害者リハビリテーションセンター 附属病院	621,412	605,905	かなり良い	保健福祉局
33	身体障害者リハビリテーションセンター 障害者支援施設(平成23年度に事業名変更)	146,020	143,951	普通	保健福祉局
34	身体障害者リハビリテーションセンター 更生相談所	47,771	44,848	かなり良い	保健福祉局
35	身体障害者リハビリテーションセンター補装具製作施設	39,414	36,662	かなり良い	保健福祉局
36	醍醐和光寮建替整備事業	804,774	17,724	-	保健福祉局
37	かしの木学園再整備事業	74,526	123,111	-	保健福祉局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するためには、一人一人のニーズに応じたサービス提供が求められるとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホーム・ケアホームの設置促進等に努めていく必要がある。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進				
指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）					
担当課	障害保健福祉課		連絡先	222-4161		
1 指標の説明						
障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣）のひと月当たりの利用時間数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護の進捗状況を示す指標			算出方法：年間延べ利用時間数÷12月 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	91,932	101,347	9,415時間増	98,600	平成21年度現況値（91,932）を基に、今後の各年度推計利用者数の伸び率を乗じて算出	102.8%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満			当該指標については障害のある人の在宅生活に対する必要な支援の量を表すものであることから、100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		23 a	
指標名 グループホーム等の利用者数（人）						
担当課	障害保健福祉課		連絡先	222-4161		
1 指標の説明						
グループホーム・ケアホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標			算出方法：グループホーム等利用者全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	527	562	35人増	527	過去最高値	106.6%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の中間）値との間 c：上中間値と平均値の間 d：平均値と下中間値（平均値と最低値の間） e：下中間値以下			当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含まれた按分で基準を設定した。 最高値：527人（平成21年度） 平均値：446人 最低値：378人（平成19年度）		23 a	

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進									
指標名	自立支援医療の受給者数（人）										
担当課	障害保健福祉課	連絡先	222-4161								
1 指標の説明											
自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標			算出方法：各医療の受給者全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度					
数値	25,155	26,565	1,410人増	25,155	過去最高値	105.6%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の中間）値との間 c：上中間値と平均値の間 d：平均値と下中間値（平均値と最低値の間） e：下中間値以下		当該指標については、障害のある方の増加に伴い、医療の受給者数も増加が見込まれることから、過去4年間の数値を基に、最高値以上をa，平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：25,155人（平成21年度） 平均値：23,714人 最低値：22,157人（平成19年度）		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>a</td> </tr> </table>				23	-	-	a
		23									
-	-	a									